



WEEKEND
FLOWER

August

花と素敵な週末を。

8月

暑さも本番、8月です。今月も、暑いからこそ家の中で楽しめるお花やグリーンをご提案します。さらに、お花を長持ちさせるコツや裏ワザもご紹介します。

				WEEKEND FLOWER		
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7
 パピルス	 ポリポジウム	■ 涼しげなグリーンリーフで おしゃれな飾り方を提案 「スタイリッシュ グリーンリーフフェア」		 マウンテン ミント	 ユーカリ ポポラス	
8	9	10	11	12	13	14
 マム アナスタシア	■ お盆のお花 「パープル&グリーンフェア」		山の日 アスター ネネパープル	 アルストロメリア アズーロ		 クルクマ ホワイト
15	16	17	18	19	20	21
■ 和を感じさせる お花特集		 コスモス	 リンドウ 日光きらり		 ナデシコ ソネットフレーズ	 ムラサキシキブ
22	23	24	25	26	27	28
 風船 とうわた	 カラー ピカンテ	■ 秋色の花で 「オレンジ&グリーンフェア」		 トウガラシ ユニカルグリーン	 ダリア ハミルトン ジュニア	
29	30	31	9/1	2	3	4
	 スプレーマム ロリポップレッド	 マム ルビーボール	■ 重陽の節句 「マムフェア」		 アナスタシア ライラック	 マム トムピアーズ

※週末にオススメする花は、各店によって異なります。予めご了承ください。

花と素敵な週末を。

夏は花がもたない?!

～夏の時期に花を長く楽しむ花屋さんのコツ～



「夏の暑い時期は水が濁りやすいから交換が面倒…」なんて声を良く耳にします。夏は花屋の店頭でも例外ではなく、あの手この手で花が長持ちするようスタッフは日々戦っています。

この時期は、お盆などで家に人が集まるシーズンです。

涼しげな色の花や南国の雰囲気の花を飾ったり、夏だからこそ花のある生活を楽しんでみませんか？

■まずは基本！3つのポイント

夏は花がもたないとあきらめず、3つのポイントを押さえて花を長く楽しみましょう。

①こまめな水替えを行う

花が枯れる原因は、花瓶の水が腐敗して水がしっかりと花の全体まで上がらないためです。花瓶の水をこまめに変えて、綺麗な状態を保ちましょう。

②茎を1～2cm程度切り戻す

植物は、茎の『道管』から水を吸い上げています。この『道管』が水の中の雑菌（バクテリアやカビ）などで詰まって塞がれてしまうと水が全体に上がらなくなり、花首が垂れてしおれてしまう原因となります。雑菌の詰まってしまった茎を切り戻すことで、水が上がりやすくなります。



③花瓶と花の茎を洗う

基本的な事ですがとても重要です。水替えをしたり切り戻ししても、花瓶が清潔でなければ効果が上がりません。水替えをするタイミングにスポンジと洗剤でしっかり洗い、清潔に保つことが大切です。また、茎にも雑菌が付着しているので、簡単に洗い流すとさらに効果的です。

■さらに長持ちさせる ちょっとしたコツ

①直射日光を避ける / 直射日光を避け、水温を低く保つ事で雑菌の繁殖速度を遅らせる事ができます。

②切り口をカッターでスライス / ハサミで潰し切るよりもカッターでスライスした方が道管の損傷が少なく水を吸い易くなります。

③漂白剤を少量入れる / 漂白剤は『塩素』。水道水にも含まれる殺菌成分です。水に少量入れることによって、水中の雑菌の繁殖を抑制します。

④10円玉を花瓶に入れる

10円玉の『銅』にも殺菌作用があります。



⑤洗にくい花瓶には“入れ歯洗浄剤” / 細かったり、複雑な形状で洗にくい花瓶は、市販の入れ歯洗浄剤を入れて一晩おいておくと、とても綺麗になります。

⑥南国の花をチョイスする / トロピカルな魅力の南国産花は、暑さに強い花が多く長持ちします。アンズリウムやデンファレ、ハンダ等がオススメです。

いかがですか？

ちょっとしたコツで夏を乗り切り、花を長～く楽しみましょう。



DAIICHI-ENGEI

第一園芸株式会社

<http://www.daiichi-engei.jp>